たけやぶ

2017.8.31
自主学童保育 土のはクラブ"

保護者会のお知らせ

日時：9月9日(土) P.M. 6:20 開始
場所：野川こども文化センター 学習室
議題：①キャンプについて
　　決算報告、反省・感想、
　　(※今年のDVD予告編を見る!?)
②夏休みの活動報告と感想
③宮前区民祭について
④児童募集について
⑤今後の行事予定について
⑥その他
⑦懇談タイム (今回は キャンプ時のグループごとに分かれて、テーマは"日常生活!? どうしてる?"などなど)

毎回、保護者会とは別に"役員会"で、打ち合わせをしています。今問題になっていること、行事にむけての段取り、「土のはクラブ」を継続していくための改善点、など話し合ってはじめてわかることも多いです。指にとっても、保護者の方の考え方や感想を聞いて、次の課題を見つけることができる機会となっています。いつも真剣に(?)楽しく保護者会の準備をしていますので、ぜひ出席おねがいします。

～夏休みの思い出アレコレ～ みんな暑くてもがんばったよね!

こどもの国プール 1回目 7月31日(月)

朝から強烈な日射しが照りつけたこの日。どこへ行くにもまずバスに乗らないといけない土のはの子どもたち。じりじりする太陽の下、いとバス停で待ち、駅で電車を待ち、こどもの国のゲートをくぐってカンカン照りの坂道をハアハアと歩いて、やっと到着したプール。それーっと飛び込んだプールの水の気持ち良さは感激ものでした。深さもいろいろあるプールで鬼ごっこをしたり、水をかけあったり、はしゃぎまくり。背の立たないところに行きたがる1年生に浮き輪をかぶせて、高学年が守るようにずーっと付きそっていました。人出も多くて、ちょっと泳ぐにもぶつかるくらい。しかし夏らしい青い空と白い雲を見上げながら水面にぷっかり浮かぶのは、体も心も開放されて、いろんな心配ごとも溶けていくよう…。この感覚は、きっと子どもも大人も同じだと思います。仲間がたくさんいるから鬼ごっこも楽しいのよね!!「ソフトクリーム食べないのー?」「それは3月の遠足で、だヨ!」急に現実的になる指…。プールからあがると体がシャンとしてスッキリ。みんなで楽しんだあとの、満足した気だるい感じを味わいながら帰ります。こういう時、土のはの家に着くと、こどもでも「やれやれー」という気持ちのようで、そんな"家"になっていることがまたうれしくなります。

高学年がヨネッティに行った日の低学年は? 林試の森公園 & じゃぶじゃぶ池 7月28日(金)

指28名と山田久さんで行きました。「高学年はいないから、3年生のキミたちが1番年上だヨ! みんなに気を配ってしっかりたのむね!」と出発前に話したところ、正義感が高まったのか、3年生全員、「おいて行くむ」「ちゃんと並べ」など、とてもわかりやすく張りつめてくれました。大きくて立派な木がたくさんある公園の中は、外よりも体感温度が低く、木陰は気持ちいい! 幼児さんもおおぜいいましたが、遊具ではゆずってあげたり、道をあけてあげたり、そこは1年生でもお兄さんお姉さんでした。ちゃんは いつのまにか小さな女の子二人と仲良くなって お世話しながらあそんであげたりしていました。男子は鬼ごっこ、遊歩道からはずれたヤブの中にも全くためらわずに入っていく姿に、「さすが、土のはっ子」。公園でお弁当を食べ、その芝の上で堂々と水着になり、じゃぶじゃぶ池では メインスポットの噴水や、橋の前後などの「あそびの人気ポイント」をサッと押さえる、でも独占はせず、他のこどもも入れてあげ、ちょっと意地悪な子が来たらにらみつける…。こういう素直な、こどもらしさって 大切にしていきたいですね。

(あそんでくれた てん ありがとうございました)

こども宇宙科学館 8月3日(木)

はるばる洋光台(横浜市)までやってきて、楽しそうなビルの入口でもうみんなはワクワク指は内心、(ゲッ、すごい混んでる～)と思いましたが、気合を入れ直し、「2時半まで、自由にあそんでいいよ、今お昼どきだから人気の3Fは 今がねらい目かも」と話しているうちに脱兎のごとく みんな散りぢりに…。2日前に足をケガしたばかりの6年太一くんまで。みんなといっしょに飛びはねています。だ～大丈夫?

この施設では宇宙をテーマに、"宇宙トレーニング室"で"月面ジャンプ"や"移動空間ユニット"、立体迷路のような"惑星ジム"など、こども心をくすぐるような乗りものがたくさんあるので、だれだって走り回りたくなっちゃいます。みんなはそれぞれ気の合う人たちとグループを組んで、ひと通り体験してまわっていました。"ゲーム"に夢中になる人、順番待ちをしてでも乗りものを体験したい人、動きまわるより じっくりクイズや本を読みたい人…。グループ行動をする時に、まわりとどう協調していくか、個性があらわれますね。自分の希望もきいてもらうためには 相手の希望も少しは受け入れなくてはいけない。こういうやり取りをたくさん経験して、「優しい心」が育っていってくれるといいなと思います。

Scanned by CamScanner

夏休みの思い出 アレコレ ～続き～

こどもの国プール 2回目 8月17日(木)

記録的な長雨がつづいた今年。この日も朝から豪雨。でも明日も雨という天気予報だし。やっぱり行こう!!と決めました。「行っても寒いしつまんないよー」と訪人を押しのけるようにして、スタスタプールに着くと…。「わっ見て!! めっちゃ空いてるー!!」前回とは打って変わってプールはがらーん。敷きものをひろげる場所もひろびろとせていた。ちょっと肌寒いけれど、水に入っちゃえばみんなへっちゃら。

お手伝いに来てくれた大学生のみゆお姉さんにべったりとくっつく1～2年の女の子たち。前回の続き、とばかり水しぶきをかけあって戦う(?)男の子たち。いつもだと20分～40分くらい待つ「チューブスライダー」も待ち時間ほとんど無しですべれます。大きな"流れるすべり台"も誰も並んでないので、すべり放題。こんな日って珍しい。すべってみたいけれどちょっとコワくて勇気のない1年生にみゆお姉さんが「いっしょにすべる?」と声をかけると「うん!」とにっこり。二人ですべってからは「もう一回やる!!」

夏休みも後半に入り、1年生たちもすっかり打ちとけて、1年同士で追いかけっこしたり、浮き輪にいっしょにつかまったりしていました。

午後からは晴れ間も出て、たーっぷりあそべました。おかげで帰りの電車では無防備に眠りすぎてイスから落ちそうになる人もいたくらい…。長い夏休みのいい思い出の1ページになりました。

稲田プール 8月22日(火)

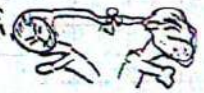
とどろきプールしかなくなって、気軽に使える屋外プールが減ってしまったなか、他の学童も「ここ行ってるよ」と聞きつけて、今年 さとのはで 初めて行ってみました。JR西武線の稲田堤駅から 徒歩10分ほどのところにあるこじんまりとしたプール。メインのプールは1年でもしっかり足が立つくらいの深さなので、低学年も安心してあそべるようでした。監視員のお兄さんたちがちょっとキビしくて、「走らないでねー」「とびこまないでねー」から「おんぶしておよがないでねー」「背およぎしないでねー」とまで言われると、「は!? なんで??」という高学年男子を「まぁまぁ」となだめる感じでした。でもやっぱり外のプールは気持ちいい。適度におなかがすいたところで外の公園へ。すぐそばの多摩川からポンプでくみ上げた せせらぎが流れる公園でお弁当をすませると、遊具の方へ向かう人、せせらぎで生きものを探す人に分かれました。せせらぎには、よーく探すと小さなエビがいっぱいいて、上手に手を使うとエビをすくえます。岩の間に、小さなザリガニを見つける人も。ちゃんとした"網"をもってきている人たちを横目に、さとのはの人たちは大人も子どもも四つんばいになって手のひらですくってペットボトルにエビを入れ、楽しみました。遊具の方には砂場に大きな石でできた山があり、コレを使って高学年男子たちがやっていたあそびは…?"ビーチフラッグ"のように、山の下に3人が腹ばいになってスタンバイ。山のてっぺんに帽子をかぶって立っている人が「ヨーイドン」とかけ声をかけると、山の下の3人がいっせいにすべる山をかけあがって帽子を取る、というものでした。よくいろいろ考えるなぁ、と感心しました。

さっPまつり 8月20日(日)

さとのはの運営委員さんが集まって開いてくれる年に1回のお祭り。

多摩川の花火大会が突然の豪雨と雷で中止となったころ、さとのはの家の駐車場では、ブルーシートの下で翌日の仕込みを準備してくれていた運営さんがいました。すごーい雷の中、黙々と…。

お祭り当日には、たくさんのOBさんや保護者OBも来てくれました。セレモニーでは、さっPの写真に向かってこの一年を報告し、「キセキ」の唄を歌いました。現役のさとのはっ子が7名、とちょっと少なかったけれど ーくん、 くんのツインギターに合わせて、心をこめて歌いました。いつも通り、そのあとは献花をしてお祭り開始。お菓子のくじ引きや、水風船の的当て、(的はOBさんの顔…?!)。指はネバって見たのですが、ストッキング相撲大会(優勝者には丸ごとスイカ!!)



大笑いしたあとはスイカ割りこと、運営委員さんたちからアイデアをしぼって、心づくしのイベントでした。ギターの くんと ゆきさんのコンサートもあり、すてきな生演奏にみんな聴き入っていました。さとのはクラブの、積み重ねてきた歴史を感じる1日となりました。今の小学生たちもOBになったらぜひ顔を出しに来てほしいなと思いました。

Scanned by CamScanner